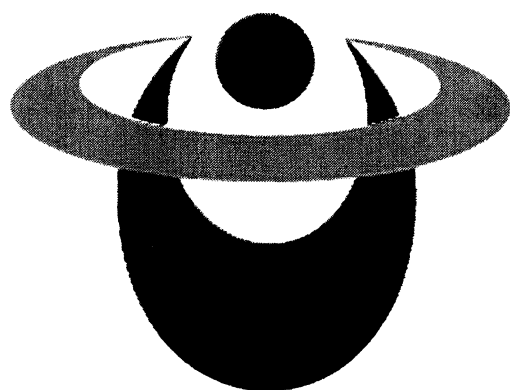


教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価結果報告書

(令和2年度分)



時と水ゆったり流れる
平川市

令和3年12月
平川市教育委員会

はじめに

平川市教育委員会は、「あふれる笑顔 暮らし輝く 平川市」の実現に向けて、未来を切り拓く子どもたちの育成、生涯にわたるスポーツライフの推進、知識と経験があふれる生涯学習の推進、感性をはぐくむ芸術文化の振興に努め、「郷土への愛着と誇りを持ち、健やかで、こころ豊かなひとづくり」を目指した教育を推進しています。

その中で、令和2年度は、第2次平川市長期総合プランの4年目に当たり、魅力あるひとづくりを基本目標に、健やかなひとづくりとこころ豊かなひとづくりの基本政策に則し、教育施策の推進に努めてまいりました。

本報告書は、当該年度に実施した事務事業について点検及び評価した結果をとりまとめたものであり、作成に当たっては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、点検及び評価の客観性を一層確保するため、各分野に精通した学識経験者の意見を求め、それを反映させました。

本報告書は、議会へ提出するとともに、公表することで、市民への説明責任を果たし、今後の教育施策の更なる充実につなげてまいりたいと考えております。

市民の皆様には、本報告書をご覧いただき、本市の教育に対する取組みについてご理解を深めていただければ幸いです。

今後も、市民の皆様にご信頼される教育行政を推進してまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。

令和3年12月

平川市教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

1. 令和2年度教育委員会の活動状況	
(1) 教育委員構成	1
(2) 教育委員会会議状況	1
(3) その他の活動状況	4
2. 教育委員会における事務の点検・評価	
(1) 自己点検・評価の実施状況	5
(2) 具体的な点検・評価の方法	5
3. 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価	
(1) シート1	
教育委員会が管理及び執行する事務	6
(2) シート2	
教育委員会が管理及び執行を教育長に委任する主な事務	7
(3) 事務事業評価表	8～29

1. 令和2年度教育委員会の活動状況

期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日

(1) 教育委員構成

教育行政における責任体制の明確化など、教育委員会改革として「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が平成27年4月に改正され、教育長と教育委員長の仕事を一本化した、新教育委員会制度が始まりました。

平川市では、平成30年2月26日に教育長が市長より任命され、新教育委員会制度に移行しております。

令和2年4月1日現在

職名	氏名	任期	備考
教育長	柴田正人	平成30年2月26日～令和3年2月25日	(2期)
委員	佐々木幸子	平成29年3月6日～令和3年3月5日	(3期)教育長職務代理者
委員	工藤甚三	平成31年3月8日～令和5年3月7日	(3期)
委員	葛西万博	平成30年2月26日～令和4年2月25日	(2期)
委員	駒井優子	平成29年6月11日～令和3年6月10日	(2期)
委員	中嶋静賢	令和2年2月25日～令和6年2月24日	(1期)

令和3年3月31日現在

職名	氏名	任期	備考
教育長	須々田孝聖	令和3年2月26日～令和6年2月25日	(1期)
委員	工藤甚三	平成31年3月8日～令和5年3月7日	(3期)教育長職務代理者
委員	葛西万博	平成30年2月26日～令和4年2月25日	(2期)
委員	駒井優子	平成29年6月11日～令和3年6月10日	(2期)
委員	中嶋静賢	令和2年2月25日～令和6年2月24日	(1期)
委員	加藤恒有	令和3年3月6日～令和7年3月5日	(1期)

(2) 教育委員会会議状況

毎月(原則第4火曜日開催)の定例会を計12回開催しました。また、令和3年3月には、平川市教育委員会職員の人事異動について臨時委員会を開催しました。

議案及び資料については、平川市教育委員会の事務の委任等に関する規則に則し、案件の整理を行い、議案様式を統一するなど会議運営について工夫しました。

また、審議が長時間にわたる場合は継続審議とし、より慎重な審議を行いました。

会議終了後は、教育委員会の透明性・公平性を図る観点から、会議録を作成し、市ホームページで公開しました。

会議	開催日時	議案番号等	内容	結果
第4回 定例会	4月21日 13:30~	議案第15号 議案第16号 議案第17号 議案第18号 議案第19号 議案第20号	平川市教育支援委員会委員の委嘱について 平川市いじめ防止対策審議会委員の委嘱について 平川市社会教育委員の委嘱について 平川市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について 市内小・中学校の夏季一斉閉庁について 令和2年度奨学金新規貸与者の決定について	可決 可決 可決 可決 可決 可決
第5回 定例会	5月26日 13:30~	議案第21号 議案第22号 各課報告 各課報告	平川市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部改正について 平川市スポーツ推進審議会委員の任命について 平川市教育委員会文書取扱い及び職員の服務規程の一部改正について 平川市特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部改正について	可決 可決
第6回 定例会	6月23日 13:30~	報告第6号 報告第7号 報告第8号 各課報告	工事請負契約について 工事請負契約について 令和2年度教育費6月補正予算について 令和2年度学校給食費無償化の実施について	承認 承認 承認
第7回 定例会	7月21日 13:30~	議案第23号 各課報告 各課報告 各課報告 各課報告 各課報告 各課報告	令和3年度使用中学校用教科用図書採択について 平川市学校ICT環境整備業務事業者選定委員会設置要綱について 平川市就学援助事業実施要綱の一部改正について 平川市スポーツ指導者資格取得補助金交付要綱について 平川市学校教育振興会補助金交付要綱の一部改正について 平川市部活動指導員設置要綱の一部改正について 平川市いじめ防止基本方針～対応マニュアル～の一部改訂について 平川市における今後の学校ICT（情報通信技術）推進について	可決
第8回 定例会	8月25日 13:30~	報告第9号 議案第24号 各課報告	令和2年度教育費等補正予算について 平川市図書館条例施行規則の一部を改正する規則案 平川市学校給食費等助成金交付要綱について	承認 可決
第9回 定例会	9月24日 13:30~	報告第10号 報告第11号 議案第25号 議案第26号	令和2年度教育費等9月補正予算について 財産の取得について 性の多様性に配慮した関係例規の整理に関する規則案 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について	承認 承認 可決 可決
第10回 定例会	10月23日 13:30~	議案第26号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について	継続 審議

会議	開催日時	議案番号等	内容	結果
第11回 定例会	11月17日 9:00~	議案第26号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について	可決
		議案第27号	平川市教育委員会表彰規則の一部を改正する規則案	可決
第12回 定例会	12月17日 13:30~	報告第12号	令和2年度教育費等10月補正について	承認
		議案第28号	押印見直しのための関係例規の整理に関する規則案	可決
		議案第29号	令和2年度平川市教育委員会被表彰者の決定について	可決
		各課報告	令和3年平川市教育委員会開催日程(案)について	
第1回 定例会	1月26日 13:30~	報告第1号	平川市河川広場管理条例案	承認 承認 承認
		報告第2号	平川市河川広場管理条例施行規則	
		報告第3号	令和2年度教育費12月補正について	
		各課報告	住所異動等に伴う区域外等就学者一覧(令和2年分)	
第2回 定例会	2月16日 13:30~	各課報告	令和2年度卒業式・令和3年度入学式について(案)	
		議案第1号	令和3年度学校教育指導の方針と重点(案)について	可決
		議案第2号	令和3年度社会教育行政の方針と重点(案)について	可決
		議案第3号	令和3年度平川市図書館運営の方針と重点(案)について	可決
		議案第4号	令和3年度スポーツ行政の方針と重点(案)について	可決
		議案第5号	令和3年度平川市学校給食センター運営の方針と重点(案)について	可決
		議案第6号	県費負担職員の人事異動について	可決
		各課報告	令和2年度平川市立小・中学校卒業式告辞について	
各課報告	令和2年度平川市立小・中学校卒業式日程について			
第1回 臨時会	3月18日 15:00~	議案第7号	平川市教育委員会職員の人事異動について	可決
第3回 定例会	3月25日 13:30~	報告第4号	碓ヶ関屋内温水プール(ゆうえい館)の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について	承認
		報告第5号	平川市運動施設条例の一部を改正する条例案	承認 承認 承認 承認 可決
		報告第6号	工事の請負変更契約について	
		報告第7号	令和2年度教育費3月補正について	
		報告第8号	令和3年度教育関係当初予算について	
		報告第9号	平川市公民館条例の一部を改正する条例案	
		議案第8号	平川市運動施設条例施行規則の一部を改正する規則案	

会議	開催日時	議案番号等	内容	結果
第3回 定例会	3月25日 13:30~	議案第9号	平川市教育委員会公印規則及び平川市公民館条例 施行規則の一部を改正する規則案	可決
		各課報告	令和3年度平川市立小・中学校入学式祝辞について	
		各課報告	令和3年度平川市立小・中学校入学式日程について	
		各課報告	平川市通級指導教室実施要綱の一部改正について	
		各課報告	平川市スポーツ大会参加に関する補助金交付要綱 の一部改正について	
		各課報告	河川広場管理要綱の廃止について	

(3) その他の活動状況

① 市議会定例会等への出席

教育長が、本会議、一般質問、常任委員会、臨時会等へ出席し、必要に応じて教育行政に関する答弁を行いました。

② 学校訪問について

学校運営の実態把握を目的として、小学校9校、中学校4校の学校訪問を年2回（前期・後期）計画し、学校経営方針を中心に校長、教頭及び教務主任と意見交換を行う予定でありましたが、コロナ禍により学校訪問を中止いたしました。

学校訪問は中止となりましたが、各学校の学校要覧を活用し、学校運営の実態把握に努めました。

③ その他行事について

入学式・成人式・表彰式等の式典及び小学校陸上競技大会をはじめ学校の諸行事に積極的に参加予定でしたが、コロナ禍により卒業式だけの出席となりましたが、その中でも子どもたちの教育活動の現状把握に努めました。

また委員としての幅広い識見を養うため、委員同士の情報共有を行い、本市の教育行政の資質向上に努めました。

2. 教育委員会における事務の点検・評価

(1) 自己点検・評価の実施状況

① 学識経験を有する者の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定に基づき、学識経験を有する方の知見を活用するため、令和3年10月7日に「点検評価アドバイザー会議」を開催。

「点検評価アドバイザー」からいただいた意見を本報告書の原案作成に反映させました。

※令和3年度点検評価アドバイザー

村 上 薫 氏〔平川市教育相談員〕

成 田 裕 一 氏〔NPO法人平川市スポーツ協会副会長〕

駒 井 優 子 氏〔元平川市教育委員会委員〕

② 点検・評価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、令和3年11月の教育委員会において、点検及び評価を行いました。

(2) 具体的な点検・評価の方法

点検・評価は、次のとおり行いました。

① 教育委員会の令和2年度の活動状況について、本報告書にまとめて点検を行いました。

② シート1

教育委員会が管理・執行する事務（教育委員会の会議に諮られる事項）について、進捗状況や、会議での審議状況を踏まえて点検を行いました。

③ シート2

教育委員会が管理・執行を教育長に委任する主な事務事業について、その成果等を踏まえ、AからDの評価を行いました。

評価の基準

達成度	評価内容
A	達成している（100%）
B	ほぼ達成している（80%以上）
C	おおむね達成している（60%以上）
D	達成していない（59%以下）

3. 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価

(シート1)

1 教育委員会が管理及び執行する事務

項目	点検
(1) 教育行政の基本方針を決定すること	教育行政の運営に関する一般方針については、年度末に教育委員会で各課の方針と重点を定め、「平川市の教育」の中で平川市教育委員会主要施策として公表している。各課では、方針に基づいて、教育行政の運営に努めた。
(2) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること	教育委員会の活動、教育委員会が管理・執行する事務と教育委員会が管理執行を教育長に委任する事務等について、点検評価アドバイザーの意見を参考に点検・評価を行い、教育委員会で承認を受け、議会に提出した。また、市ホームページに掲載し周知した。
(3) 学校、公民館、図書館その他の教育機関の設置及び廃止を決定し、並びにその敷地を選定すること	該当事例なし
(4) 1件の予定価格が500万円を超える教育財産の取得を市長に申し出ること	教育委員会関係の財産の取得について、教育委員会に諮り、意見を求めた。
(5) 県費負担教職員の懲戒及び県費負担教員たる校長の任免その他の進退について内申すること	学校管理運営規則及び学校職員服務等に関する規程に基づき、服務規律等の確保に努めた。また、毎月開催の定例校長会において、定期的に服務規律のマニュアルを提示し、具体的に指導し、交通違反、交通事故、体罰等の防止に努めた。 更には、校長の任免について、教育委員会に諮った。
(6) 教育長、事務局長、課長、館長、施設長及び所長の任免その他の人事に関すること	教育委員会職員の人事異動に関し、教育委員会に諮った。
(7) 教育委員会規則を制定し、又は改廃すること	教育委員会規則の制定等については、定例の教育委員会に諮り、委員の意見を聞きながら、慎重かつ的確に審議した。
(8) 教育予算その他市議会の議決を経るべき議案について市長に意見を申し出ること	教育委員会関係の条例制定や一部改正、予算、工事の請負契約等について、教育委員会に諮り、意見を求めた。
(9) 法令に定める附属機関の委員の任免、委嘱又は解職に関すること	各課で委嘱している各種委員の任命及び委嘱について、法令で規定されているものを教育委員会に諮り、意見を求め、採決した。
(10) 学齢児童及び生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること	該当事例なし
(11) 教科用図書を選択すること	令和3年度中学校において使用する教科用図書について教育委員会に諮り、採決した。

2 教育委員会が管理及び執行を教育長に委任する主な事務

基本目標	基本政策	個別目標	具体的事務事業	評価	No	担当課
魅力あるひとづくり	健やかなひとづくり	未来を切り拓く子どもたちの育成	学校図書整備	B	1	学校教育課
			学校教育振興会	B	2	〃
			学校改築	B	3	〃
			小学校・中学校施設維持管理	A	4	〃
			学校給食の充実	B	5	学校給食センター
			平川市教職員研修	A	6	指導課
			英語検定料補助金	A	7	〃
			学力向上対策（学習支援員配置）	A	8	〃
			指導主事による学校訪問	B	9	〃
			いじめ防止対策	B	10	〃
			放課後子ども教室	B	11	生涯学習課
	生涯にわたるスポーツライフの推進	軽スポーツ巡回教室	B	12	スポーツ課	
		平川市スポーツ大会派遣補助金	B	13	〃	
		親子体操教室	B	14	〃	
		平賀多目的広場防球ネット改修工事	A	15	〃	
	こころ豊かなひとづくり	知識と経験があふれる生涯学習の推進	未来の担い手発掘・育成・支援	B	16	生涯学習課
			ひらかわの寺子屋	B	17	平賀公民館
			定例おはなし会	C	18	平川市図書館
			図書館利用促進事業	B	19	〃
	感性をはぐくむ芸術文化の振興	公共ホール音楽活性化	B	20	文化ホール	
		文化財保護	B	21	生涯学習課	
		郷土資料館	B	22	郷土資料館	

事務事業評価表

事業 No. 1

事務事業名	学校図書整備	担当課	学校教育課
-------	--------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	1 学校教育環境の充実
事業年度	令和2年度	
事業の目的	読書から得られる集中力、認識力等の醸成に資するため、文部科学省が定める「学校図書館図書標準蔵書数」を基に、学校図書の充実に向けた整備を行う。	

2. 実施方法・実績

【実施方法】

文部科学省が定める「学校図書館図書標準蔵書数」を基に、充足率の低い学校から重点的に予算配分し、充足率を高める。

- ◆実績額合計 ・小学校 1,539,254円 ・中学校 1,993,447円
- ◆学校図書標準充足率 ・小学校 96.8% (前年93.4%) ・中学校 78.9% (前年74.2%)
全学校 90.2% (前年86.3%)
- ◆絆会より20万円の寄附を受け、充足率の低い松崎小学校と大坊小学校へ10万円ずつ配分し、図書の購入費に充てた。

小学校名	実績額	充足率	中学校名	実績額	充足率
金田	156,365円	101.3%	尾上	586,703円	78.0%
猿賀	61,831円	89.9%	平賀西	592,550円	79.6%
柏木	128,744円	98.7%	平賀東	429,220円	81.2%
大坊	364,771円	82.6%	碓ヶ関	384,974円	75.8%
小和森	74,965円	111.6%	計	1,993,447円	78.9%
松崎	424,074円	84.6%			
竹館	127,589円	105.7%			
平賀東	59,950円	97.6%			
碓ヶ関	140,965円	90.9%			
計	1,539,254円	96.8%			

【事業費】 事業費総額 3,533千円 (うち国・県補助 0千円)

3. 評価

B	国で定める「学校図書館図書標準蔵書数」を目標に、各校で図書の整備がなされたが、依然として充足率の低い学校がある。蔵書の老朽化の状態も勘案しながら、継続的に充足率を高めており、さらなる学校図書の充実を図る必要がある。
----------	---

事務事業評価表

事業 No. 2

事務事業名	学校教育振興会	担当課	学校教育課
-------	---------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	2 生きる力をはぐくむ学校教育の充実
事業年度	令和2年度	
事業の目的	「平川市学校教育振興会補助金交付要綱」に基づき、小・中学校間の連携強化に関わる事業や部活動等の大会出場に係る費用などに補助金を交付し、学校教育・スポーツ・文化芸術の振興及び保護者の負担軽減を図る。	

2. 実施方法・実績

【実施方法】

小学校陸上競技大会、学校音楽発表会、文集ひらかわ、学校保健会、児童・生徒作品展の連携事業又は各学校の部活動等の大会出場に係る経費に対し、交付要綱に基づき補助金を交付する。

【実績】

事業名		実績額	備考
① 部活動等の大会派遣費		1,423,300円	※ 延べ21大会
②連携事業費	小学校陸上競技大会運営費	0円	
	学校音楽発表会運営費	0円	
	文集ひらかわ	0円	
	学校保健会	57,000円	
	児童・生徒作品展	0円	
計		1,480,300円	

※ 対象児童生徒延べ人数：170人、引率者延べ人数：30人

【事業費】 事業費総額 1,481千円（うち国・県補助 0千円）

3. 評価

B	<p>平川市学校教育振興会補助金を活用した連携事業は新型コロナウイルス感染症の影響により、学校保健会のみの実施となったが、教職員の意欲的な取り組みにより児童生徒の健康増進が図られた。</p> <p>また、部活動の大会派遣費についても、補助金の活用により、スポーツ・文化の振興に寄与することができ、保護者の負担軽減が図られた。</p>
----------	--

事務事業評価表

事業 No. 3

事務事業名	学校改築	担当課	学校教育課
-------	------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	1 学校教育環境の充実
事業年度	令和2年度	
事業の目的	老朽化した学校の改築を行い、安全安心な教育環境を維持する。	

2. 実施方法・実績

【実施方法】

耐力度調査実施により危険改築の要件を満たした校舎及び屋内運動場について、設計業務を行う。

設計が完了した施設は、国庫補助（負担金及び交付金）等を活用して工事を実施している。

【実績】

(1) 平賀東小学校校舎及び屋内運動場改築事業

工事請負費（外構工事）	4,488,000円
-------------	------------

(2) 猿賀小学校校舎改築事業

委託料（監督支援業務ほか）	3,317,600円
工事請負費（外構工事、物置設置工事ほか）	174,655,250円
公有財産購入費	501,896円
補償費	4,083,441円
事務費	190,657円
合計	182,748,844円

(3) 碓ヶ関小学校校舎改築事業

工事請負費（校舎改築工事）	172,480,000円
事務費	780,031円
合計	173,260,031円

【事業費】 事業費総額 360,497千円（うち国補助 54,396千円）

3. 評価

B	<p>本事業で、平賀東小と猿賀小 2 校の改築工事が完了し、安全安心な教育環境を維持することができた。</p> <p>また、碓ヶ関小改築工事に着手し、計画どおりに事業を進め、教育環境の充実が図られた。</p>
----------	--

事務事業評価表

事業 No. 4

事務事業名	小学校・中学校施設維持管理	担当課	学校教育課
-------	---------------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	1 学校教育環境の充実
事業年度	令和2年度	
事業の目的	学校施設の不具合が生じた箇所を工事・修繕し、安全安心な教育環境の維持管理に努める。	

2. 実施方法・実績

【実施方法】

電気設備や消防設備、遊具などは、定期的に保守管理を行い、状況把握に努める。
また、学校施設や備品の破損等については、速やかに状況を確認し、緊急度・優先度の高いものから修繕等を実施する。

【実績】

(1) 小学校の主な工事・修繕

松崎小学校大規模改修工事	326,909,000円	
空調設備設置工事	7,656,000円	
大坊小学校体育館照明LED化工事	990,000円	
碓ヶ関小学校屋根復旧工事	4,832,102円	
小学校ビジネスホン設置等工事	6,022,500円	
猿賀小学校特別支援教室改装工事	1,721,940円	
修繕料	5,446,999円	柏木小特別支援教室修繕ほか
小学校総合計	353,578,541円	

(2) 中学校の主な工事・修繕

空調設備設置工事	23,674,750円	
平賀西中学校照明LED化工事	35,860,000円	
平賀東中学校トイレ洋式化改修工事	14,828,000円	
修繕料	3,086,968円	碓ヶ関中避難はしご修繕ほか
中学校総合計	77,449,718円	

【事業費】 事業費総額 431,029千円（うち国補助 136,534千円）

3. 評価

A	<p>松崎小学校の大規模改修工事を実施したほか、空調設備設置工事やトイレ洋式化工事などを行い、教育環境の充実に努めることができた。</p> <p>学校施設の修繕については、施設や設備の点検結果のほか、学校からの要望を受けて現地確認を行うなど、優先順位を決めて計画的に実施した。</p>
----------	--

事務事業評価表

事務事業名	学校給食の充実	担当課	学校給食センター
-------	---------	-----	----------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	1 学校教育環境の充実
事業年度	令和2年度	
事業の目的	ぬくもりのある学校給食を提供するため、衛生管理の徹底などが円滑に行えるよう管理運営体制の充実を図るとともに、第2次平川市食育推進計画に掲げられた、地元農産物利用率の目標値 20%の達成を目指す。	

2. 実施方法・実績

【実施方法】

- ①栄養士等による調理員に対する衛生講習会及び衛生管理指導を実施し、調理器具等の洗浄消毒を徹底させ、調理員の衛生管理に関する知識と意識付けによって、衛生管理の徹底を図る。
- ②地元農産物利用率目標達成のため、農家などから直接購入できるよう地元農産物供給者を募集したり、集荷配送等の問題解消を図り地元農産物の利用を促進しながら、子どもたちに喜ばれる魅力的な給食献立の創意工夫に努める。

【実績】

- ①衛生管理の徹底、調理員の意識向上により食中毒防止が図られ、効率的に業務に取り組み、給食を定時に提供できた。
- ②野菜などの生産農家に地元農産物供給者として登録をしてもらい、直接食材を購入したことで、地元農産物の利用率が向上した。

①学校給食センター食数等

基本食数 (令和2年5月1日現在)	令和2年度 給食日数	令和2年度 総食数
2,340食/日	200日	437,291食

②農産物利用率

年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
地 元	15.3%	16.8%	18.1%	16.0%	19.2%	19.5%
県内(地元含む)	65.7%	64.3%	63.6%	65.5%	62.9%	63.4%

【事業費】 事業費総額 254,353千円 (うち国・県補助 0千円)

3. 評価

B	<p>衛生管理等の徹底を図ることにより、ノロウイルス感染症及び食中毒等の発生を予防でき、安全安心な給食を各小・中学校へ遅延なく提供することができた。</p> <p>地元農産物利用率は、市内の農家から直接野菜等を購入したことなどにより、前年度より 0.3 ポイント上昇したが、目標には達していないため、今後、更なる安全安心な給食を提供するため、地元並びに県内農産物の利用率を高める必要がある。</p>
----------	---

事務事業評価表

事業 No. 6

事務事業名	平川市教職員研修	担当課	指導課
-------	----------	-----	-----

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	1 学校教育環境の充実
事業年度	令和2年度	
事業の目的	教員としての専門性を高め、資質の向上を図ることにより、授業を核にした生き生きとした学級づくりの推進に資するとともに、学校運営への参画意欲を高め、平川市の学校教育の活性化を目指す。	

2. 実施方法・実績（具体的に記載）

【実施方法】

市内の小・中学校教職員を対象とした研修会、講座を実施する。

【実績】

管理職及び管理職として期待される教員には、その自覚と学校運営に参画する意欲を高めることができた。

また、学級担任等には、学級経営で求められる明確な視点が与えられたことにより、教科指導や生徒指導の指導力向上を図ることができた。加えて、オンラインによる新しい形態での研修等を実施することもできた。

講座名	実施年月日	参加者	実施形態
平川市教職員合同着任式講演	中止		
平川市教師力向上講座①	令和2年5月28日	19名	参集型
平川市小・中学校教職員全員研修講座	中止		
平川市教師力向上講座②	令和2年9月17日	59名	オンライン
幼保小連携研修	令和2年12月25日	34名	参集型
平川市冬季研修講座	令和3年1月14日	32名	オンライン
教頭・教務主任会議（兼教育課程研修）	令和3年1月22日	26名	オンライン
特別支援教育担当者会議（同上）	令和3年1月25・26日	25名	オンライン
研修主任会議（兼校内研究推進研修）	令和3年2月8日	13名	オンライン

【事業費】 事業費総額 24千円（うち国・県補助 0千円）

3. 評価

A	<p>新型コロナウイルス感染予防対策のため、一部実施できなかった研修はあったものの、実施形態をオンラインとしたり、会議に研修内容を盛り込んだりして、心理検査、学力検査、新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりに係る内容のほか、部活動やスポーツ活動の在り方など教育課題に即した講座を開催し、講義や演習を通して市内教員の資質向上を図った。今後も教員の実態を踏まえて、より実践的な研修内容にステップアップし、教員の指導力の向上を図る必要がある。</p>
----------	---

事務事業評価表

事業 No. 7

事務事業名	英語検定料補助金	担当課	指導課
-------	----------	-----	-----

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	2 生きる力をはぐくむ学校教育の充実
事業年度	令和2年度	
事業の目的	英語検定料を補助することで、受検機会を増やし、英語意欲を高め、平川市の中学生に係る英語力の底上げを図る。	

2. 実施方法・実績（具体的に記載）

<p>【実施方法】</p> <p>英語検定3級、4級を受検する生徒の保護者（申請者）に対し、準会場（学校を会場とするもの）検定料の3分の2の額を補助する。</p> <p>※文部科学省及び青森県では、3級以上の英語力のある生徒を5割とする育成を目標としている。</p> <p>【実績】</p> <p>準会場（学校を会場とするもの）の検定実施となった7月、10月、1月に合わせて年3回、また塾や校外会場（オンライン等）にて受検した者に対して補助金交付を行った。3級受検者87名のうち補助申請者は54名、4級受検者84名のうち補助申請者は52名であった。</p> <p>【事業費】 事業費総額 229千円（うち国・県補助 0千円）</p>

3. 評価

A	<p>今年度から実施した事業である。令和元年度の3級と4級の受検者数は、165名、合格率は約66.0%であったが、令和2年度の3級と4級の受検者数は、171名、合格率は73.65%であった。受検者数については、若干の増加となり、合格率については大きく向上している。数字のみで全てを計ることはできないが、意欲のある生徒が受検できる機会が増え、事業の効果が表れた側面であると捉えている。今後は検定料改正による受検料の値上げについての対応や申請様式等の簡略化で更に事業効果が高まるように努めていく。</p>
----------	--

事務事業評価表

事業 No. 8

事務事業名	学力向上対策（学習支援員配置）	担当課	指導課
-------	-----------------	-----	-----

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	1 学校教育の環境の充実
事業年度	令和2年度	
事業の目的	市内全小・中学校に学習支援員を配置し、個に応じたきめ細かな指導の充実を図り、子どもたちの学力向上を目指す。	

2. 実施方法・実績（具体的に記載）

【実施方法】

学習支援員19名を、すべての小・中学校に1～2名配置し、授業における個別支援に努めるほか、中学校においては長期休業中も学習支援を行う。

適切な支援の在り方についてスキルアップを図るため、各種訪問時等において必要な指導・助言を行う。

【実績】

小学校9校では各校の実態に合わせて、学力向上重点学年や教科（主に算数）に応じて配置し、学級担任との連携のもと支援を行った。

中学校4校では、主に数学、英語を中心として教科に応じた配置を行い、学習理解の程度に合わせた個別支援を行った。

支援員19名（小学校12名、中学校7名）	
報酬（時給1,100円）＋期末手当	17,430,886円
通勤手当(対象17名)	1,138,000円
総支給額	18,568,886円

※その他、共済費（雇用保険、労務災害保険）は人事支出によるため明記なし。

【事業費】 事業費総額 18,569千円（うち国・県補助 0千円）

3. 評価

A	<p>子どもたちに発言を促したり、気付いていない視点を示したりするなど、児童・生徒一人一人の実態を把握し、学習意欲を引き出しながら、学ぶ楽しさを実感させ、基礎学力の定着・向上が図られた。</p> <p>学級担任等との連携を一層充実させるために、管理職等に有効な活用の仕方について指導・助言するとともに、支援員の確保や個々の支援員の資質向上を更に図るよう努めていく。</p>
----------	--

事務事業評価表

事業 No. 9

事務事業名	指導主事による学校訪問	担当課	指導課
-------	-------------	-----	-----

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	2 生きる力をはぐくむ学校教育の充実
事業年度	令和2年度	
事業の目的	指導主事が直接学校を訪問し、学校運営等に関わる現状把握と諸問題解決について指導・助言を行う。	

2. 実施方法・実績（具体的に記載）

【実施方法】

計画訪問、要請訪問（学校からの要請）、生徒指導訪問（長期休業中及び長期休業明けの訪問）を実施する。

【実績】

①計画訪問

各校の教育課題への取組状況を把握するとともに、授業への具体的な指導・助言をし、授業力向上に寄与できた。

②要請訪問

授業実践に対する具体的な指導・助言を通して、教員の研修意欲を高めることができた。

③生徒指導訪問

計画訪問、随時訪問を通して、児童・生徒の状況を把握し、問題行動等の未然防止、事案対処に資することができた。長期休業中及び長期休業明けに市内全小・中学校を訪問し、長期休業中の児童・生徒の行動についての実態把握及び対応への指導・助言により、問題行動の減少といじめ防止等の効果的な取組について共通理解を図ることができた。

学校訪問実施状況

訪問内容 / 実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
計画訪問			10校	3校						
要請訪問						1校	3校	6校	3校	
生徒指導訪問	13校			13校	13校				13校	13校

【事業費】 事業費総額 43千円（うち国・県補助 0千円）

3. 評価

B	平川市学校教育指導の方針と重点を確実に伝達するとともに、校内研修が一層充実するよう、コロナ禍においても実施方法を工夫しながら、具体的かつ適切に指導・助言を行った。今後も、学習指導要領全面実施に伴い、教育課程の管理や授業改善等についての指導・助言を継続していく必要がある。
----------	---

事務事業評価表

事業 No. 10

事務事業名	いじめ防止対策	担当課	指導課
-------	---------	-----	-----

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	3 学校・家庭・地域の連携
事業年度	令和2年度	
事業の目的	市、学校、家庭、地域住民、その他関係機関と連携し、いじめ防止等の対策を総合的かつ効果的に推進する。	

2. 実施方法・実績（具体的に記載）

【実施方法】

- (1) 定期的な指導主事訪問等で各校のいじめ防止等への取組状況を把握し、必要に応じて指導・助言をする。
- (2) 各校にいじめ等に係る報告書を毎月提出させるとともに、特に、保護者対応（いじめの報告）や暴力行為への対応等について必要に応じて指導・助言をする。
- (3) 各校にインターネットトラブル事例集（第5版）を配布し、ネットによるいじめの発生を未然に防ぐよう、保護者への周知・啓発について指導する。
- (4) 平川市いじめ問題対策連絡協議会と平川市いじめ防止対策審議会を運営し、関係機関との連携を図る。

【実績】

各校おけるいじめ問題に関する理解が深まり、いじめの積極的認知や早期対応に繋がり、いじめ防止対策を推進することができた。また、関係機関との連携やインターネットトラブル事例集（第5版）の配付等により、ネットトラブルに係る情報を各校に提供することによって、ネットトラブルの未然防止につなげることができた。

【事業費】 事業費総額214千円（うち国・県補助 0千円）
審議会等35,360円、インターネットトラブル事例集（改訂版）177,870円

3. 評価

B	いじめ問題に関する理解が深化したことにより、いじめを早期に発見し、解消に向けた取組に繋げることができている。引き続き、いじめ防止の実効性を高めるために関係機関と連携を強化するとともに、いじめやその積極的な認知について保護者や地域住民への周知に努める必要がある。
----------	--

事務事業評価表

事業 No. 11

事務事業名	放課後子ども教室	担当課	生涯学習課
-------	----------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	3 学校・家庭・地域の連携
事業年度	令和2年度	
事業の目的	放課後の子どもたちの安全安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の協力を得て、子どもたちとともに体験活動や地域住民との交流活動等の取り組みを実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かに健やかに育まれる環境づくりを推進する。	

2. 実施方法・実績

【実施方法】

協働活動支援員や協働活動サポーター（地域のボランティア団体）に運営を依頼し、「読み聞かせ」、「ものづくり」、「レクリエーション」、「スポーツ（新体操）」教室などを開催し、計画的に活動拠点（居場所）を確保している。

- (1) わくわくひらかわ教室（市内全域） 年 9回（あみまつハウス）
- (2) わくわく新体操教室（碓ヶ関地区） 年40回程度（碓ヶ関RGC）
- (3) わくわく遊び体験教室（放課後児童クラブと連携） 年1回（あみまつハウス、市内児童クラブ）

【実績】

わくわくひらかわ教室を文化センター、わくわく新体操教室を碓ヶ関小学校で実施した。

- (1) わくわくひらかわ教室 開催回数 8回 対象者29名（平賀22名、尾上7名、碓ヶ関0名）
- (2) わくわく新体操教室 開催回数47回 対象者 4名
- (3) わくわく遊び体験教室 開催回数 0回 対象者 名

※わくわくひらかわ教室については、先着順の募集とした。

【事業費】 事業費総額 256千円（うち国・県補助 170千円）

3. 評価

B	<p>本事業は、地域の大人や他校の子どもたちが、様々な体験や交流ができる重要な場となっている。わくわくひらかわ教室は、4月に募集を開始したため、新型コロナウイルス感染症への不安により前年度より申込者が少なくなったと考えている。</p> <p>人と人との距離を保ちながらの活動であったため、協力し合うことは少なかったが、様々な体験活動により、気付きや考える力が養われた。</p> <p>現在、「わくわくひらかわ教室」の申込者の大半が平賀地区となっていることから、今後は市内全域からの参加を促すための工夫が必要である。</p>
----------	---

事務事業評価表

事業 No. 12

事務事業名	軽スポーツ巡回教室	担当課	スポーツ課
-------	-----------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	3 生涯にわたるスポーツライフの推進
	主要施策	2 スポーツ・レクリエーション活動の充実
事業年度	令和2年度	
事業の目的	市民スポーツ推進のため、市民の要望に応じ平川市スポーツ推進委員を派遣し、軽スポーツの指導及び普及を図る。	

2. 実施方法・実績

【実施方法】

市民の要望に応じた出前教室を26名のスポーツ推進委員が実施する。

- ① 広報、ホームページによる事業の周知
- ② 軽スポーツを希望する団体からの申請受付
- ③ スポーツ推進委員の調整
- ④ スポーツ推進委員の派遣
- ⑤ 実績報告・謝金支払

【実績】

内容	件数	参加者	推進委員	備考
体操教室	11	164	11	町居保育園5件、子ども園あらや4件 中央こども園2件
軽スポーツ 教室	1	18	2	わくわくひらかわ教室(カラーリング、フライングディスク)
計	12	182	13	

【事業費】 事業費総額 33千円 (うち国・県補助 0千円)

3. 評価

B	<p>平川市スポーツ推進委員を講師に、市民の要望に応じた出前教室を行うことで、スポーツへの親しみが深まり、市民のスポーツ意識と健康意識の向上につながっている。令和2年度はコロナ禍により、13件が中止となっている。</p> <p>今後は、年齢別のプログラムを充実させるため、推進委員に対する研修会などを開催し、広く市民に軽スポーツを通じたスポーツの普及に努める。</p>
----------	--

事務事業評価表

事業 No. 13

事務事業名	平川市スポーツ大会派遣補助金	担当課	スポーツ課
-------	----------------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	3 生涯にわたるスポーツライフの推進
	主要施策	3 夢に向かう競技スポーツの推進
事業年度	令和2年度	
事業の目的	市内小・中学生のスポーツ活動及びスポーツ少年団の振興を目的に、東北大会・全国大会などに参加するための交通費等一部経費を助成する。	

2. 実施方法・実績

【実施方法】

市内小・中学生が県大会等の成績により、東北大会・全国大会などに参加するための交通費等一部経費（学校教育振興会補助金交付要綱対象者を除く）の助成となる。

- ①東北や全国大会の出場権を得た個人または団体から申請を受ける。
- ②スポーツ課で精査した後、企画財政課に提出し交付決定される。
- ③申請者より請求を受け補助金を交付する。
- ④大会終了後、申請者より実績報告を受け補助金を精算する。

助成金（小学生）：東北（秋田・岩手） 10,000円、北海道、南東北（宮城・山形・福島） 15,000円、関東、甲信 20,000円、北陸、東海 25,000円、近畿 40,000円、中国 45,000円、四国 55,000円 九州 60,000円、沖縄 70,000円

助成金（中学生、監督等）：東北（秋田・岩手） 10,000円、北海道、南東北（宮城・山形・福島） 25,000円、関東、甲信 35,000円、北陸、東海 45,000円、近畿 75,000円、中国 80,000円、四国 100,000円 九州 120,000円、沖縄 130,000円

【実績】

申請種目	交付件数	交付人数	支給額
バドミントン	5	5	70,000
一輪車	1	3	120,133
計	6	8	190,133

【事業費】 事業費総額 191千円（うち国・県補助 0千円）

3. 評価

B	<p>令和2年度は本補助金を活用し、小・中学生選手（監督・コーチを含む）8名が東北大会・全国大会に出場しスポーツに対する意欲向上につながった。令和2年度は緊急事態宣言等により、交付実績が減少した。</p> <p>今後は、広報紙や市ホームページ等のほか、学校へポスターを配布するなど、制度の周知を図り、多くの児童・生徒に補助金が交付されるよう努める。</p>
----------	--

事務事業評価表

事業 No. 14

事務事業名	親子体操教室	担当課	スポーツ課
-------	--------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	3 生涯にわたるスポーツライフの推進
	主要施策	2 スポーツ・レクリエーション活動の充実
事業年度	令和2年度	
事業の目的	新体育館のこけら落とし事業として、元NHK体操のお兄さんの指導のもと、体を動かす楽しさを学び、低年齢層からスポーツに親しむ習慣を創出し、「スポーツで元気なまち」の推進に寄与する。	

2. 実施方法・実績

【実施方法】

ひらかわドリームアリーナにおいて親子体操教室を開催した。
 ①マネジメント会社を通し、講師を調整し斡旋してもらう。
 ②講師による親子体操教室を実施する。

【実績】小林よしひさ氏（元NHK「おかあさんといっしょ」体操のお兄さん）を講師として招き平川市在住のおおむね3歳～小学2年生とその保護者を対象に1日2回（各回先着100組、1回目92組(186名)・観覧者85名、2回目76組(154名)・観覧者59名）親子体操教室を実施した。

【事業費】事業費総額 2,406千円（うち国・県補助 0千円）

3. 評価

B	<p>小学校低学年までの子とその親に対し、スポーツ・レクリエーション活動に親しむ環境を提供することができ、市民のスポーツ・健康づくりに対する意識の高揚につながった。</p> <p>しかしながら、参加者が募集人数に達しなかったことから、事業の周知徹底について、より効果的な方法を検討する必要がある。</p>
----------	--

事務事業評価表

事業 No. 15

事務事業名	平賀多目的広場防球ネット改修工事	担当課	スポーツ課
-------	------------------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1 健やかなひとづくり
	個別目標	3 生涯にわたるスポーツライフの推進
	主要施策	1 運動施設の環境整備と利活用
事業年度	令和元年度～令和2年度	
事業の目的	市民の生涯スポーツ、健康づくり、レクリエーションの場として、平賀多目的広場のソフトボール側の防球ネットを嵩上げ工事し、安全・安心に努め、効率的な利活用を図る。	

2. 実施方法・実績

【実施方法】

平賀多目的広場のソフトボール側は公道に面しており、既存防球ネットの高さが5mとなっていた。そのため、ファールボール等が防球ネットを越え、公道等へボールが飛ぶ危険性があることから、防球ネットの高さを10mまで嵩上げ工事を実施した。なお、工法としては、既存柱を撤去し、新たに10mの柱を設置するものである。

【実績】

令和元年度

- 設計業務：令和元年8月7日～令和元年度10月31日
- 請負業者：東北建設コンサルタント株式会社
- 請負金額：1,100千円

令和2年度

- 工事期間：令和2年9月1日～令和2年12月28日
- 請負業者：株式会社弘南産業
- 施工延長：160m
- 請負金額：22,572千円

3. 評価

A	防球ネットを改修したことにより、安全・安心な運動施設の環境が整備された。今後もよりよいスポーツ環境を提供し、生涯スポーツ・健康づくり・レクリエーションの場としてさらなる利活用が図られるよう努める。
----------	--

事務事業評価表

事業 No. 16

事務事業名	未来の担い手発掘・育成・支援	担当課	生涯学習課
-------	----------------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	2 こころ豊かなひとづくり
	個別目標	5 知識と経験があふれる生涯学習の推進
	主要施策	1 年代に応じた多様な学習機会の提供
事業年度	令和2年度	
事業の目的	地域活動に参画意欲のある若い人材の発掘・育成・支援を行うとともに、共に学び、実践を通してながら繋がりを深め、将来の地域を担う人材の育成を行う。	

2. 実施方法・実績

【実施方法】

地域活動へ参画する若者の育成について、平成28年度から平成30年度まで弘前大学と連携し取り組んできたが、令和元年度からは市単独事業として実施。「市のことを知る」「仲間づくりをする」ことを目的として、先進事例や地域の特色を学習しながら、多世代・異業種交流を行う。参加者募集は、平川市文化センターSNS(FaceBook)により周知し行った。

【実績】

- 第1回カフェミーティング(8月1日) 会場：平川市文化センター 参加者：11名
 テーマ：「まちづくりは‘まち’を知ることから～Think Globally Act Locally～」
 講師：渋谷拓弥氏(NPO法人環境パートナーシップ代表理事)
- 第2回カフェミーティング(9月19日) 会場：道の駅いかりがせき文化観光館 参加者：14名
 テーマ：「地域の道の駅のこれから～ステップ3に向けて～」
 講師：桑田直樹氏(道の駅いかりがせき駅長)
- 第3回カフェミーティング(10月11日) 会場：平川市文化センター 参加者：13名
 テーマ「バーテンダーが考える地域活性化とは」
 講師：佐藤聖也氏(合同会社聖ざき代表)
- 第4回カフェミーティング(1月30日) 会場：平川市文化センター 参加者：9名
 テーマ「かわしいのVR体験講座～歴史・文化財編～」
 講師：川嶋慎治氏(平川市地域おこし協力隊)・生涯学習課文化財係
- 第5回カフェミーティング(3月12日) 会場：盛美園 参加者：12名
 テーマ「不断力」
 講師：水木正千代氏(平川サガリ研究会会長)

【事業費】事業費総額 70千円(うち国・県補助 0千円)

3. 評価

B	地域に関わり活躍する若者世代の育成を図るため、地域活性化に関する先進事例の講話や視察、交流会に延べ59人が参加し、地域活動に関する意識の向上に繋がった。若者の地域活動・まちづくりに関する事業は、企画財政課が所管する「平川市ユース議会」において集約して行うこととなったため、令和2年度で終了とする。
----------	--

事務事業評価表

事業 No. 17

事務事業名	ひらかわの寺子屋	担当課	平賀公民館
-------	----------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	2 こころ豊かなひとづくり
	個別目標	5 知識と経験があふれる生涯学習の推進
	主要施策	1 年代に応じた多様な学習機会の提供
事業年度	令和2年度	
事業の目的	生涯にわたって自らが輝き続けるために、講演や文化芸術活動への参加を通して現代社会に適応できる教養を身に付けるとともに、その知識等を積極的かつ自主的に地域活動に活かせるひとづくりを行うものである。	

2. 実施方法・実績

【実施方法】 ※令和元年度より「平成の寺子屋」から「ひらかわの寺子屋」へ名称変更

20歳以上の市民を対象に、現代社会に適応する教養を身に付けるための講座や移動学習会等を開催する。講座終了後は、次回以降の参考とするためアンケートを実施している。

【実績】

○開催回数：講演会5回、移動学習会0回、体験教室4回、コンサート0回 計9回

○参加者数：延べ143人（男性29人、女性114人）

アンケートの結果、参加者の感想はおおむね良好であり、内容については好評である。

開催日	内 容	人数	開催日	内 容	人数
7/18	初心者大歓迎！裂き織体験教室①	15人	3/6	介護サービスに頼らずに元気で生活するために大切なこと	13人
7/25	初心者大歓迎！裂き織体験教室②	14人			
8/1	初心者大歓迎！裂き織体験教室③	15人	3/13	認知症の方・そのご家族に向けた支援や関わり方	14人
8/29	山菜をとるルールと山の掟	19人			
9/12	知っておきたい遺言・相続の知識	20人	3/27	自宅で簡単にできる工夫・事例に応じた介護サービスの利用	13人
10/3	筆ペン習字講座	20人			

【事業費】 事業費総額 130千円（うち国・県補助 0千円）

3. 評価

B	<p>コロナ禍での開催となったが、講座内容の変更や日程変更、また、定員を減らすことで、9講座の学びの場を提供することができた。また、より深く学習することを目的に、連続した3回の講座（裂き織）を開催するなど新たな取り組みも行い、好評であった。</p> <p>一部講座については、碓ヶ関地区からの参加者確保のため、バスの時刻に合わせて開催時間を調整したが、参加者の確保につながらなかったため、今後、参加者増加のための工夫が必要である。</p>
----------	---

事務事業評価表

事業 No. 18

事務事業名	定例おはなし会	担当課	平川市図書館
-------	---------	-----	--------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	2 こころ豊かなひとづくり
	個別目標	5 知識と経験があふれる生涯学習の推進
	主要施策	1 年代に応じた多様な学習機会の提供
事業年度	令和2年度	
事業の目的	<p>幼児から小学6年生の子どもたちを対象に読み聞かせを通して、読書に興味をもたせ、読書習慣を身に付けるようにするほか、これを機会に図書館の利用促進を図る。</p> <p>また、学区や学年が異なる子どもたちの相互交流の場にするほか、思い出づくりの一助となることを目的とする。</p>	

2. 実施方法・実績

【実施方法】

月例おはなし会と時節おはなし会は、その都度のテーマに即した内容とし、平川市読書推進運動協議会（おはなしこっこん）に読み聞かせを依頼しており、特に時節では、テーマや内容を同協議会と図書館間で打ち合わせにより決定し、その内容に則した本を選書している。また、会場の飾り付けも行い、雰囲気づくりにも工夫を凝らしている。周知方法では、広報や市ホームページへの掲載の他、図書館内や市内各小学校、こども園等へのポスターの掲示、チラシの配布等を行っている。

【実績】

コロナ禍により中止となった時期が続いたが、感染防止対策をとりながら、12回を開催した。

・月例おはなし会

開催数：平賀図書館 4回、尾上図書館 5回 参加人数：6名

・時節おはなし会

開催数：平賀図書館 1回、尾上図書館 1回、碓ヶ関公民館 0回 参加人数：15名

・体験型おはなし会

開催数：平賀図書館 1回 参加人数：10名

【事業費】事業費総額 79千円（うち国・県補助 0千円）

講師等謝金	60,400円
賄材料費	15,336円
おかし代（消耗品費）	3,300円
支出計	79,036円

3. 評価

C	<p>読書に興味や関心を持つきっかけづくりとして実施しているものであり、成長する子どもたちを対象としているため、翌年に延期などできない事業である。人流が制限されたこともあり図書館利用者数の減少同様、参加者数は少なかったが、感染防止対策をとりながら開催できた。</p> <p>今後は、引き続き、感染防止対策を講じるとともに、自由な外出ができる状況を見ながら、HP や SNS などを利用するなどの事業周知強化に努めながら、以前以上の参加者数となることを目指し、取り組んでいきたい。</p>
---	---

事務事業評価表

事業 No. 19

事務事業名	図書館利用促進事業	担当課	平川市図書館
-------	-----------	-----	--------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	2 こころ豊かなひとづくり
	個別目標	5 知識と経験があふれる生涯学習の推進
	主要施策	2 生涯学習環境の整備
事業年度	令和2年度	
事業の目的	図書館の目的は、図書、記録、その他必要な資料を収集・整理・保存し、利用者の教養・調査研究・レクリエーション等に資することである。上記の目的のため、平賀図書館・尾上図書館・碓ヶ関公民館図書コーナーの適切な蔵書管理と利用拡大を図ることを目的とする。	

2. 実施方法・実績

【実施方法】

限られた予算の中で蔵書の充実を図るため、平賀・尾上両館では重複購入をなくするほか、無償資料の収集に努めている。また、両館にない資料は、県内相互貸借システムにより、他館から取り寄せて貸し出しを行うなどし、利用者の要望に応じている。

また、テーマに応じた「展示」コーナーを設け、魅力ある図書の紹介に努めたほか、利用者拡大に向け「子ども図書館員」「古典入門講座」等の事業を行った一方、「文学散歩青森県」や中・高校生の職場体験の受け入れなど、コロナ禍により中止となった事業もあった。

【実績】

	年度	購入 (冊)	寄贈 (冊)	その他 (冊)	貸出人数 (人)	貸出冊数 (冊)
平賀	元	1,612	854	2	11,740	45,440
	2	1,839	643	13	9,916	43,771
尾上	元	1,041	153		5,425	16,413
	2	1,006	261		3,314	11,556
碓ヶ関	元				104	207
	2		2		92	203

【事業費】 事業費総額 11,302千円（うち地方創生臨時交付金3,488千円、指定寄付100千円）

講師謝礼	10,000円	消耗品費	1,395,712円	通信運搬費	248,130円	備品購入費	7,253,847円
記念品	310,000円	燃料費	2,801円	使用料	2,045,692円	負担金	36,000円

3. 評価

B	コロナ禍により、事業が中止となったり、利用者数が減少となったりとマイナス要素があるものの、国の「新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金」を活用し、図書消毒機や返却台を購入したほか、図書購入費も対象となり、当初予算以上の図書購入となったことから、施設の充実が図られた。更に、在宅時間を有意義に過ごせるよう、貸出冊数を5冊から10冊に増やし、利便性を向上させたことからプラス要素の方が大きいと判断し、総体的にみて「ほぼ達成」とする。
----------	--

事務事業評価表

事業 No. 20

事務事業名	公共ホール音楽活性化	担当課	文化ホール
-------	------------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	2 こころ豊かなひとづくり
	個別目標	6 感性をはぐくむ芸術文化の振興
	主要施策	1 芸術文化活動の振興
事業年度	令和2年度	
事業の目的	一般財団法人地域創造の事業である「公共ホール音楽活性化事業」を活用し、現在活躍している音楽演奏家を招へいして学校でのアウトリーチ（ホール外での演奏）及びコンサートを行い、音楽を身近なものとするとともに、感受性や創造性を高めることを目的とする。	

2. 実施方法・実績

【実施方法】

一般財団法人地域創造による助成事業を活用。出演者は、登録アーティストの中から選定。
(H28：ピアノ、H29：ピアノ、H30：金管五重奏、R1：ブラスバンド)

R2の選定にあたっては、ピアノと木琴が多くのある学校にあり、幅広い層の人達に馴染みがあることから、ピアノとマリンバの組合せとした。前年度と同様にアウトリーチを6回とし、市内学校に案内したところ、応募が多数であったため、過去の実績を踏まえ選考した。

学校を訪問するアウトリーチでは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から密集を回避するため、実施場所を例年の音楽室から体育館へと変更した。

【実績】

出演アーティスト：浜まゆみ（マリンバ） & 新居由佳梨（ピアノ）

アウトリーチ先：9月23日 平賀東中学校2年生 34名 平賀東中学校2年生 34名
9月24日 碓ヶ関小学校4～5年生 17名 松崎小学校4年生 15名
9月25日 平賀東小学校6年生 35名 柏木小学校4年生 19名
(H29=122名 H30=222名 R1=221名 R2=154名)

コンサート：9月26日 文化センターにて 138人 (179席限定で販売)

(入場者数 H29=コンサートなし H30=287人 R1=433人)

【事業費】 事業費総額 1,569千円

(うち国・県補助 0千円 その他：地域創造助成金500千円 入場料153千円)

3. 評価

B	<p>アウトリーチについては、これまでの音楽室での実施と比較すると、体育館での実施は、空間が広すぎるため、『身近さ』や『一体感』が薄れていたように感じられたが、子どもたちは演奏に聴き入っており、感動を与えることができた。</p> <p>コロナ禍にあり、やむを得ない部分もあるが、より効果的な方法について情報収集し、実施していく必要がある。</p>
----------	---

事務事業評価表

事業 No. 21

事務事業名	文化財保護	担当課	生涯学習課
-------	-------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	2 こころ豊かなひとづくり
	個別目標	6 感性をはぐくむ芸術文化の振興
	主要施策	2 文化財の保存と継承
事業年度	令和2年度	
事業の目的	文化財保護法、平川市文化財保護条例に基づき、各種指定文化財を保護・保存するため、必要な事業を行うものである。	

2. 実施方法・実績

<p>【実施方法】</p> <p>(1) 所有者が実施する指定文化財の保存整備事業等に対し、補助支援を行う。</p> <p>(2) 埋蔵文化財包蔵地（遺跡）での開発調整を行い、保護に努める。</p> <p>(3) 文化財パトロールや火災防ぎょ訓練等を行い、文化財保護の意識向上を図る。</p> <p>(4) 無形民俗文化財保存団体に対する補助支援や各種催事への出演斡旋に努める。</p> <p>(5) 文化財標柱・説明板を更新し周知に努める。</p> <p>【実績】</p> <p>所有者が実施する「国名勝盛美園保存整備事業」「国名勝清藤氏書院庭園保存整備事業」（国庫補助）及び無形文化財保存団体（市補助）に支援したほか、文化財標柱の更新、文化財火災防ぎょ訓練、文化財パトロール、埋蔵文化財開発調整（試掘調査）等を行った。</p> <p>【事業費】 事業費総額 14,907千円 （うち国・県補助 10,260千円、市負担 ※2,206千円、所有者負担 2,441千円） ※文化財保護費決算3,346千円のうち</p>
--

3. 評価

B	<p>国指定文化財所有者や無形民俗文化財保存団体に対して補助支援し、国名勝盛美園の復旧工事を終了した。国名勝清藤氏書院庭園は、コロナ禍の影響等から令和2年度内の工事終了が令和3年度まで順延となった。</p> <p>今後も市内に残る貴重な文化財の保護・保存や世代交代による円滑な継承を支援に努める必要がある。</p>
----------	---

事務事業評価表

事業 No. 22

事務事業名	郷土資料館	担当課	郷土資料館
-------	-------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	2 こころ豊かなひとづくり
	個別目標	6 感性をはぐくむ芸術文化の振興
	主要施策	2 文化財の保存と継承
事業年度	令和2年度	
事業の目的	平川市郷土資料館条例に基づき、郷土の歴史、民俗、芸術、産業及び自然に関する調査、教育、研究、資料の収集、保管及び展示に関する事業を行うものである。	

2. 実施方法・実績

【実施方法】

- (1) 資料の適切な保管と展示を行う。
- (2) 展示会などの普及啓発事業を行い、郷土に関する学習の機会を提供する。
- (3) 収蔵資料の貸出や講師派遣による学校教育の支援を図る。

【実績】

種別	事業名	開催場所	観覧・参加人数
展示会	リニューアル展示説明会 ここが見どころ！郷土資料館	文化センター	22名参加
見学会	史跡・文化財巡り ～津軽の中世城館～	弘前市 鯉ヶ沢町	36名参加
体験学習	ちょっと昔の暮らし体験その2	文化センター	8名参加
	陶磁器クッキーづくり	文化センター	8名参加
伝統文化 鑑賞会	津軽のこぎん	生涯学習センター	10名参加
	津軽焼	文化センター	11名参加

その他、学習機会の支援として、収蔵資料を金田小学校（昔の道具）に貸出したほか、市内小学校へ職員を派遣し授業を行った。文化財を活かした魅力発信事業（弘大連携）で資料展示コーナーを刷新しリニューアルを図った。

【事業費】事業費総額 ※1,140千円（うち国・県補助 0千円）※文化財保護費決算3,346千円のうち

3. 評価

B	<p>コロナ禍の影響により対策が困難な一部の事業を次年度へ延期せざるを得なかったものの、可能な範囲で歴史や文化財などについて見識を深める機会を提供できた。また、弘前大学との連携により郷土資料館をリニューアルオープンし、貴重な郷土資料の適切な保管と文化財を活用した当市の魅力発信につなげることができた。</p>
----------	--

